

感染症の発生について(情報提供)

【概要】

市内医療機関から腸管出血性大腸菌(O111)感染症の発生届が当保健所がありました。
内容につきましては、下記のとおりです。
これは感染症法第16条に基づく発生動向情報であり、感染予防について呼びかけるものです。

病名	腸管出血性大腸菌(O111)感染症				
年齢及び性別	82歳・女性				
職業	無職				
住所	四日市市				
発病年月日	平成	26年	7月	10日	
診断年月日	平成	26年	7月	16日	
【患者発生の経過】					
7月10日	腹痛、軟便あり。				
7月11日	腹痛持続、軟便数回あり。				
7月12日	腹痛、水様性下痢(頻回)、血便のため市内医療機関を受診入院。				
7月16日	7月12日の便検査結果から腸管出血性大腸菌(O111)感染症と診断。				
7月16日現在、患者は入院中ですが、症状軽減しており快方に向かっています。					
【防疫措置】					
家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施					
【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】					
平成26年1月1日～平成26年5月13日現在までの本件含む ()内は三重県内の発生					
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
患者	19 (187)	6 (31)	12 (50)	6 (44)	2 (12)
保菌者	17 (164)	9 (19)	3 (24)	7 (18)	1 (7)
計(感染症)	36 (351)	15 (50)	15 (74)	13 (62)	3 (19)
【自分で出来る予防対策】					
1 予防の3原則					
加熱(菌を殺す)					
この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。					
肉の生食は避けてください。特に子どもや高齢者は注意してください。					
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。					
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。					
井戸水は、煮沸してから飲んでください。					
迅速・冷却(菌を増やさない)					
調理した食品はすぐに食べましょう。					
清潔(菌をつけない)					
手指や調理器具は十分に洗いましょう					
2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。					
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。					

連絡先

四日市市保健所 保健予防課(059-352-0594、059-352-0595)

担当： 白木、松浦